

資産管理サービス信託銀行のフィデューシャリー・デューティーの実践に向けた

アクションプランの2016年度取組状況について

～お客さま本位の業務運営の徹底～

1. 資産管理サービス提供体制の強化

- ① 資産管理サービスにおけるベストプラクティスの追求に不断に取り組みます。
- ② 規制・制度の変更や新たな運用手法・投資対象に適切に対応するため、計画的なシステム投資により継続的にインフラの充実を図ります。
- ③ 職員向け教育メニューを充実させることにより、次世代を担う高度な専門性を備えた「資産管理のエキスパート」の育成に戦略的に取り組みます。

アクションプラン取組状況
● 最良の資産管理サービスを提供するため、全社をあげて事務品質改善運動を展開し、サービス水準の向上に取り組みました。
● 2018年5月に予定される国債決済期間短縮化（T+1化）に向け計画通りにシステム開発を進めたほか、新たな運用手法・投資対象への対応のため、デリバティブ管理用システム、担保管理用システムの機能強化のための開発等を実施しました。
● 新任者/中堅層/リーダー層など、階層に応じた研修を計画的に実施するとともに、「資産管理のエキスパート」に必要な語学力やシステム対応力を向上させるため、外部講師を招いた英語講座や海外拠点へのトレーニー派遣、IT研修を実施しました。

2. サービス品質の向上と新規サービスの開発に向けた取り組み

- ① 新たな運用手法・投資対象に迅速に対応し、お客さまの「新しい取り組み」を資産管理面から積極的にサポートします。
- ② 資産管理に係るニーズや当社サービスへの評価など、お客さまの生の声を当社の経営戦略に活かすべく、お客さまとの接点を増やします。
- ③ サービス内容に照らして適正な資産管理報酬を設定するとともに、報酬設定プロセスの定期的な検証を行います。

アクションプラン取組状況
● お客さまの「新しい取り組み」をサポートするため、新しい業務・サービスの開発・推進を担う専担組織として、「業務推進部」を設置し、デリバティブ証拠金規制への対応負担を軽減できるBPOサービスの提供など、新たなサービス開発に積極的に取り組みました。

- 資産管理報酬の水準の適正性につき、コンプライアンス部門による検証を実施いたしました。

3. お客様の投資活動を支える情報提供の高度化

- ① 各国市場に関する規制・制度情報やお客様が投資する資産に関する情報等、お客様に対する各種情報提供サービスの充実に向けた体制整備を行います。

アクションプラン取組状況

- 各国市場における税制変更や決済制度変更に係る情報など、情報提供WEBを通じたタイムリーな情報発信、コンテンツの拡充を実施しました。

4. グループ管理方針等

アクションプラン取組状況

①ガバナンス

- 「〈みずほ〉のフィデューシャリー・デューティーに関する取組方針」に基づくアクションプランを策定・公表するとともに、その遵守状況について、取締役会等に四半期毎に報告しています。

②業績評価

- お客様の新しいニーズ、新しいサービスへの対応にウェイトを置いた業績評価体系としています。

③報酬等の合理性

- サービスの内容に合致した合理的な資産管理報酬水準を設定しています。

④利益相反管理

- 資産運用関連業務における管理対象取引と管理方法を明確化し、グループ内の利益相反管理の高度化に取り組んでいます。

⑤研修

- 全ての役員と社員に対して、「〈みずほ〉のフィデューシャリー・デューティーに関する取組方針」等に関する教育・研修を実施いたしました。引き続き全ての役員と社員がフィデューシャリー・デューティー遵守の意識を共有し、実践を行う図る企業文化が定着するよう取り組んでまいります。

以 上